

42759

教科書文庫

| |
|----------------|
| 4. |
| 290 |
| 32-1928 |
| 20000 89449 |

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

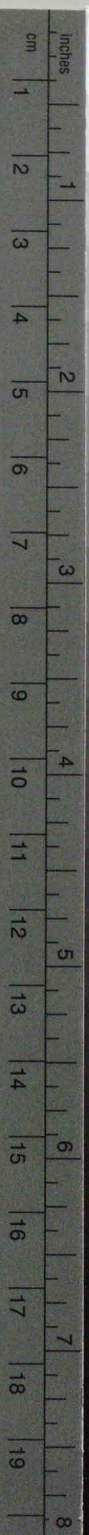


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書文庫
4
290
32-1928
2000089449

高等小學地理書

第三學年用

文部省



教科書文庫

4

290

32-1928

2000089449

教育学科

資料室

36
290
昭3



高等小學地理書

第三學年用

文部省

広島大学図書

2000089449



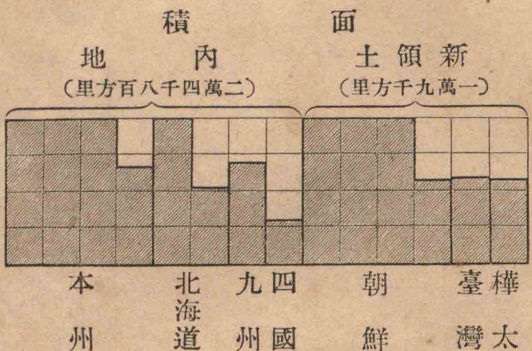
目録

| | |
|-----------------|-----|
| 第一 總説 | 一頁 |
| 第二 農業 | 三 |
| 一 内地の農業 | 三 |
| 二 新領土の農業 | 十二 |
| 第三 養蠶業 | 十五 |
| 第四 牧畜業 附 養禽業 | 十七 |
| 第五 林業 | 二十一 |
| 一 内地の林業 | 二十一 |
| 二 新領土の林業 | 二十六 |
| 第六 鑛業 | 二十八 |
| 一 内地の鑛業 | 二十八 |
| 二 新領土の鑛業 | 三十四 |
| 第七 水産業 | 三十五 |
| 一 内地の水産業 | 三十五 |
| 二 新領土の水産業 | 三十九 |
| 第八 工業 | 四十一 |
| 一 内地の工業 | 四十一 |
| 二 新領土の工業 | 五十四 |
| 第九 商業 | 五十六 |
| 一 内地の商業 | 五十六 |
| 二 新領土の商業 | 六十一 |
| 第十 關東州及び南洋諸島の産業 | 六十四 |
| 第十一 世界に於ける日本の地位 | 六十六 |

高等小學地理書 第三學年用

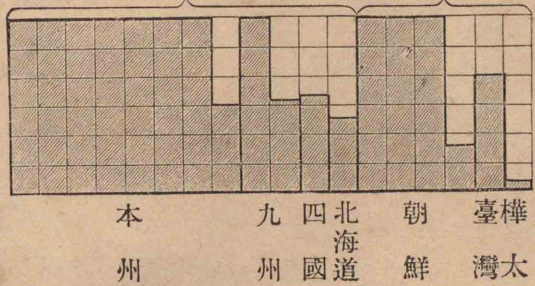
第一 總説

我が日本は亞細亞洲の東部に在りて、島嶼部と大陸部とよ
 樺太り成り、四萬三千餘方里^{七、三、〇}の總面積を有す。
 島嶼部の中、本州、四國、九州、北海道の各部
 は我が本土にして、文化最も發達し、臺灣、
 樺太及び大陸部の朝鮮は新領土にして、
 文化未だ本土に及ばざれども、近來其の
 進歩著しきを見る。
 我が國の大部分は温帶に位し、氣候概ね
 温和にして、雨量に富む。國內山岳多けれ



ども、諸處に肥沃なる平野盆地開けて、多く農産物を産し、山地は林産物、鑛産物に富み、又、水力發電に利用せらるべき河湖に乏しからず。近海には寒暖二種の海流ありて、水産物甚だ多し。我が國の人口は約八千三百萬に及び、人口稠密にして、

新領土人口 (人萬十七百三千二)
内地人口 (人萬十七百九千五)



て、勞力の供給多く、石炭の産出豊富なるが上に、水力の利用も亦漸く盛なれば、各種の工業次第に發達して、我が國に産せる原料品のみならず、外國より輸入したる原料品にも加工して、多額の製作品を出す。其の海外に輸出せらるゝ額も漸次多きを加ふ。

我が國は近く支那、西比利亞、南洋諸島

高地三

高地三

等の諸地方を控へ、太平洋を隔て、遙かに南北兩亞米利加洲に對して、世界交通上の要路を占む。加ふるに我が國の海岸は良港に富み、水陸の連絡至便なれば、我が國の交通貿易は國勢の伸張、産業の進歩と相待ちて、大いに發達し、輸出入の年總額は著しく増加するに至れり。今後更に進んで資本を充實し、工業の經營を改善し、良質にして廉價なる商品を増加し、一層の努力を以て商業上の勢力を擴張せば、我が國力發展の將來は益、有望なるべし。

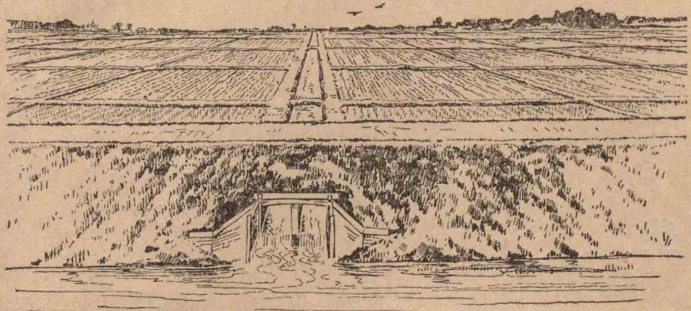
第二 農業

一 内地の農業

我が國は古來瑞穂國と稱せられ、農業夙に開けたり。殊に近

概説

耕地整理



年未墾地の開墾、耕地の整理盛に行はれて、耕地の面積次第に増加したるのみならず、耕地の利用、灌漑、耕作方法の改良、種子及び肥料の選擇、害蟲の驅除等亦よく行はるゝに至りたるを以て、斯の業益、盛況を呈せり。

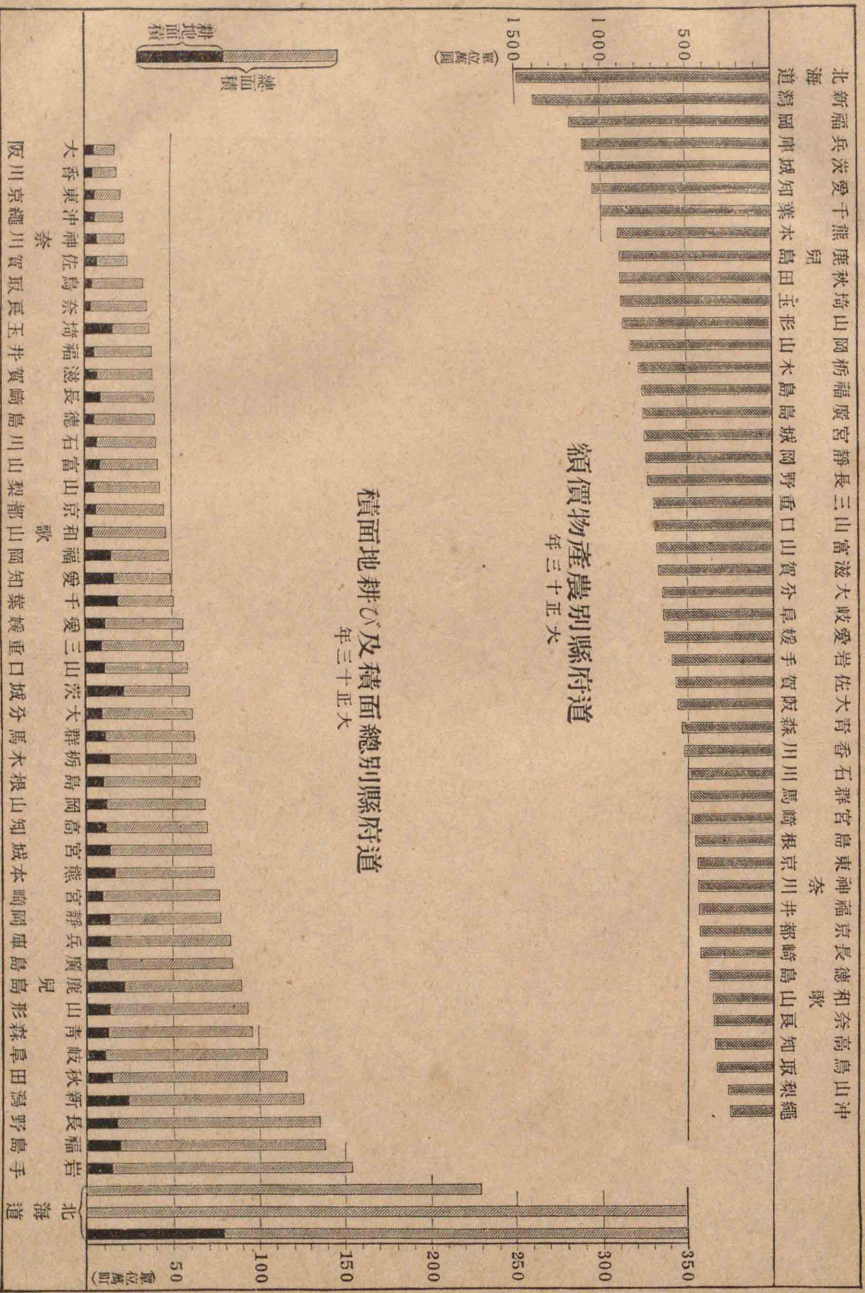
内地に於ける耕地は内地總面積の一割五分五厘を占め、田と畑と略、相半ばす。道府縣中、耕地面積の大なるは北海道及び新潟、鹿兒島、茨城の諸縣にして、各總面積に比して耕地の割合多きは埼玉、千葉、大阪、茨城の諸府縣なり。

北海道、奥羽等の地方にては、冬季、寒氣

高地三
高地三

額價物産農別縣府道
年三十五大

積面地耕及び積面總別縣府道
年三十五大



農産物

強く積雪深き等の爲に、冬季の耕作概ねよく行はれざれども、關東地方より、中部地方の太平洋方面、近畿地方の諸平野等を経て、西南に進むに随つて、二毛作盛に行はる。されば是等諸地方に於ける耕地の生産力は一般に甚だ大なり。農業者は國民の凡そ五割を占め、農家一戸に對する耕地は平均一町歩餘に當る。内地の農産物は近時産額次第に増加して、繭を除きても、年産價額三十數億圓に達す。就中、主要なるは穀類なり。殊に米と麥とは最も重要にして、其の收穫の多寡は直ちに國家經濟に至大の影響を與ふ。是等に次ぐものは甘藷、大豆、大根、葉煙草、里芋、茶、馬鈴薯等なり。農産物の中には、綿、藍等の如く輸入品に壓倒せられて産額著しく減少せしものあれども、蔬

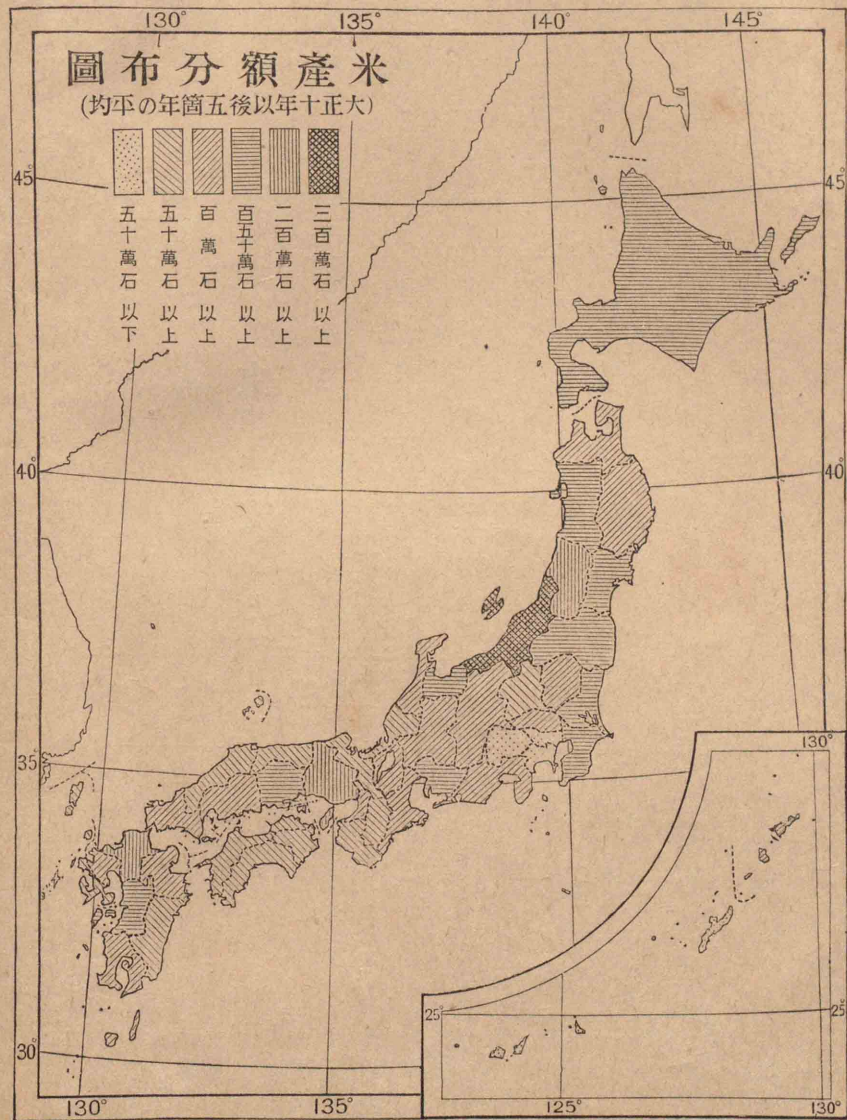
高地三

米

菜果實等の中には、近時新に栽培せられて著しき産額を見るに至りしもの少からず。我が國は支那、印度、支那、印度等と共に世界の主要なる米産地たり。内地の米の産額は、大正十年以後五箇年を平均して一箇年五千七百餘萬石に達す。内地の中、米の産額の最も多きは新潟縣にして、一箇年三百萬石を超ゆ。之に次ぐは福岡、兵庫、山形、千葉、秋田、愛知、茨城、岡山、宮城、熊本、福島、富山の諸縣及び北海道なり。内地に於ける田地一反歩の米の平均産額は一石八斗餘にして、

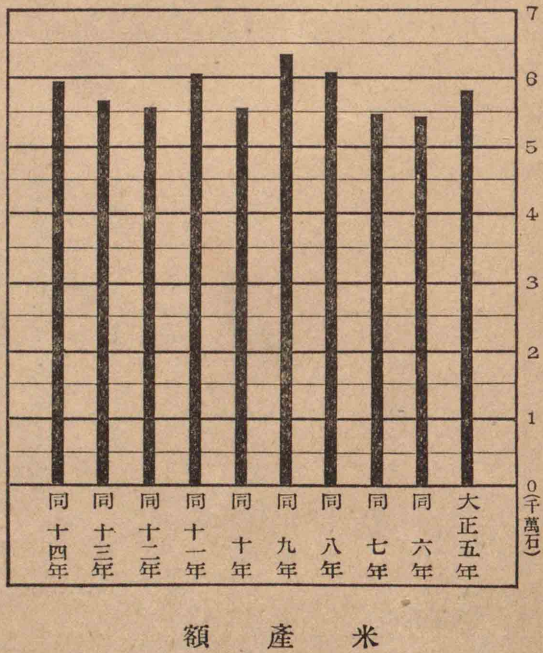
| 種別 | 産額 | 價額(單位萬圓) |
|-----|-------------|------------|
| 米 | 五九七〇萬石 | 二二、三、三、七、六 |
| 稗麥 | 七七八萬石 | 一、三、三、七、〇 |
| 小麥 | 六二二萬石 | 一、二、四、七、六 |
| 甘藷 | 九、九、五、四、六萬貫 | 一、一、二、八、五 |
| 大豆 | 八八三萬石 | 一、〇、八、三、七 |
| 大根 | 三六一萬石 | 六、六、八、五 |
| 葉煙草 | 一、七、三、五萬貫 | 五、九、三、二 |
| 里芋 | 一、五、九、三、二萬貫 | 四、八、九、六 |
| 茶 | 一、〇、三、三、二萬貫 | 三、七、一、六 |
| 馬鈴薯 | 一、五、九、六、九萬貫 | 三、六、四、四 |
| | | 三、四、七、二 |

重要農産物産額及價額(大正十四年)

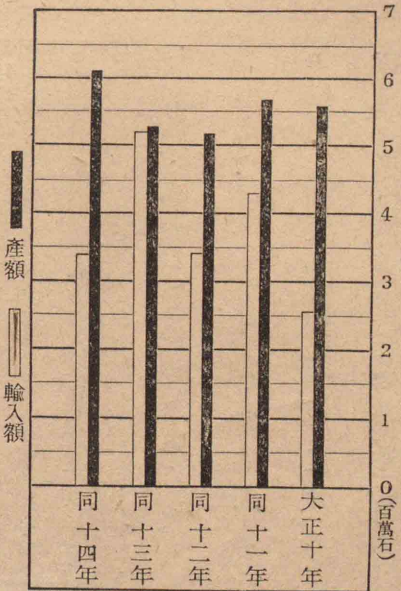


麥

近畿地方の諸平野、筑紫平野等に於ては反當りの産額最も多し。内地に於ける米の産額は逐年増加すれども、人口の増加等の爲に、米の需要益、多大なれば、年々、朝鮮、臺灣より移入し、又印度支那を主として外國より輸入する量頗る多し。内地に産する麥には大麥、稗麥、小麥等あり。大麥は中部地方以北に、稗麥は中部地方以西に、小麥は關東地方に其の産額最も多し。中にも小麥は近年内地に於ける製粉業の勃興す



るに随ひ、其の需要著しく増加して、國産のものにては其の需要を充すこと能はざるに至り、濠洲・米國・加奈陀等より多量に輸入せらる。



小麦産額及輸入額

甘藷は沖繩・鹿兒島の二縣を始めとして、九州地方を主産地とす。こゝより東北に進むに随ひ、概して産額漸次減少し、關東地方にては尙其の産額少からざれども、奥羽地方の北部に至りては其の産額大いに減少す。されど馬鈴薯の栽培は奥羽地方より北海道に亙りて却つて盛に行はる。里芋は關東地方を主産地とす。

甘藷・馬鈴薯・芋

大豆

大豆は北海道を主産地とす。近年醬油・味噌等の外、豆粕製造の原料としても其の需要多きを加ふるを以て、内地産のものにては不足を告げ、朝鮮・滿洲・支那本部等より供給を受くること頗る多し。

大根

大根は全國到る處に産すれども、産額の多きは東京府・愛知縣及び北海道なり。

葉煙草

葉煙草は栃木・鹿兒島・茨城の諸縣を主産地とす。

茶

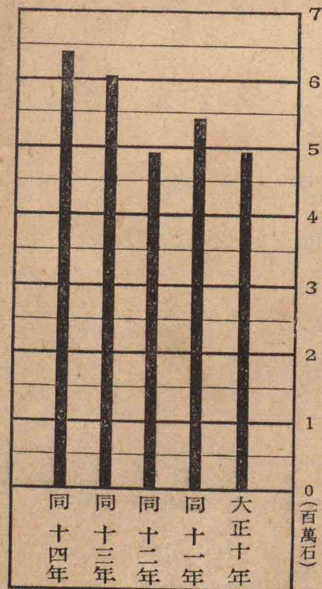
茶は輸出農産物の首位を占む。其の大部分は綠茶にして、關東地方以西に於ける太平洋方面の丘陵地に多く栽培せらる。茶の産額の最も多きは静岡縣にして、内地總産額の約五割を出す。之に次ぐは三重・京都・鹿兒島・奈良の諸府縣なり。中にも京都府の宇治茶は風味の佳良なるを以て名あり。

臺灣の農業

二 新領土の農業

臺灣は氣温高く、雨量多くして、其の氣候地味よく農業に適す。其の全面積の約二割は耕地にして、住民の五割餘は農業に従事す。近年灌漑の施設、耕作の方法等進歩せるを以て、農産物の産額著しく増加せり。農産物の中、米・甘蔗・甘藷・果實・茶は最も主要なるものにして、落花生・麻類之に次ぐ。果實にはバナナ・柑橘類・龍眼・パイナップル等熱帯性のもの多し。

米は臺灣の農産物中産額最も多く、主として西部の平野に産す。其の收穫は年二回に及び、年産額六百萬石に達す。其の



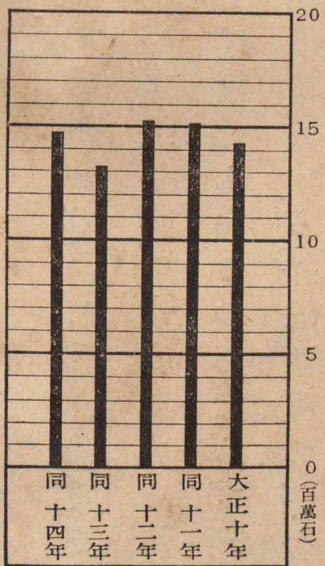
額産米

中、内地に移入せらるゝ額少からず。甘蔗は主として中部以南の平野に栽培せられ、本島第一の移出品たる粗糖の製造に用ひらる。甘藷は到る處に栽培せられ、米に次ぎて重要な食料品たり。茶は北部の丘陵地に多く栽培せられ、烏龍茶包種茶等に精製せらる。臺北は製茶の主産地にして、製茶は本島第一の輸出品たり。

朝鮮の農業

朝鮮は風土概ね農業に適するを以て、古來斯の業廣く行はれ、住民の八割餘は之に従事す。近年其の改善に力を用ひしが爲に、耕地の生産力著しく増進したるのみならず、到る處に開墾の業行はれて、總面積に對する耕地面積の割合は内地と殆ど異なるなきに至れり。農産物は米・麥・粟・大豆を主要なるものとす。其の他、綿・人蔘等あり。

是等の農産物中、米は最も主なるものにして、年産額約一千五百萬石に達し、移出品並びに輸出品としても第一位を占む。米の産額は中部以南に多く、北に至るに随ひ漸く減少す。麥は大麥・小麥を主とし、綿と共に亦中部以南に多く、粟は却つて中部以北に多し。大豆は至る處に産し、米に次ぎて主要なる移出品たり。人蔘は多く開城附近に産し、主として支那に輸出せらる。



米産額

樺太の農業

樺太は氣温低く、住民少く、開拓未だ進まずして、少量の麥馬鈴薯・蔬菜等を産するに過ぎず。

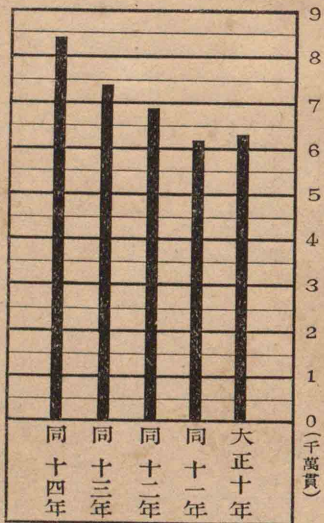
概説

第三 養蠶業

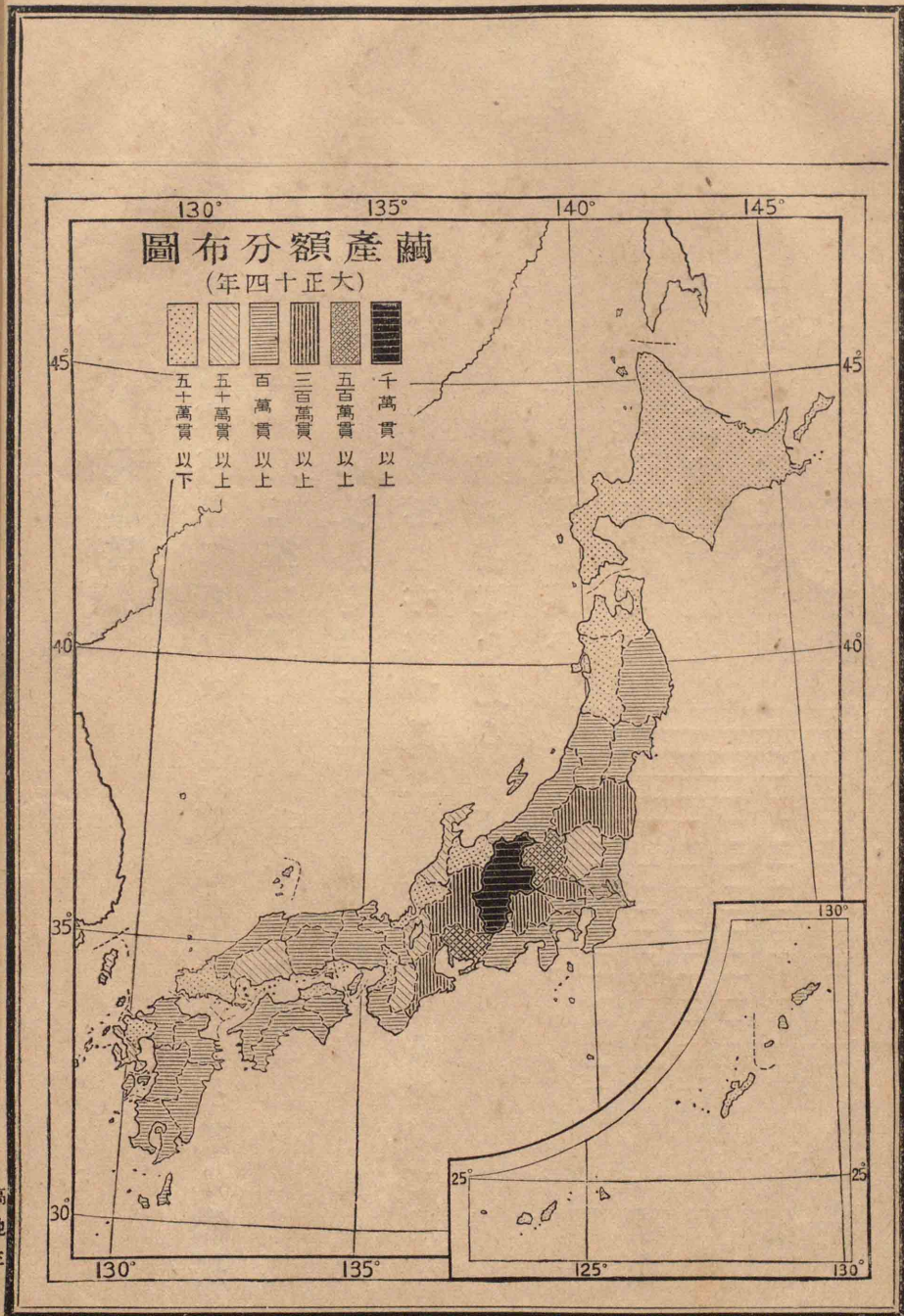
養蠶業は古來内地に行はれ、殊に明治維新以後、生絲の需要増加したるが爲に益發達し、今や我が國は養蠶國として其の名世界に著れ、支那と共に世界中にて需要する生絲の大部分を供給す。朝鮮も亦其の風土養蠶に適するを以て、將來こゝにも斯の業の發達を見るに至るべし。

内地の桑・繭

桑は養蠶業の發達に随ひ、内地に於て益盛に栽培せられ、桑畑は其の面積、畑地の約一割八分を占む。桑畑の殊に多きは中部地方及



繭産額



高地三

び其の附近の諸縣にして、随つて養蠶業も亦、是等の地方に於て最も盛に行はる。大正十四年に於ける繭の産額は約八千五百萬貫にして、其の價額八億圓を超ゆ。繭の産額の最も多きは長野縣にして、之に次ぐものは愛知・群馬・埼玉・福島・山梨・三重の諸縣なり。

第四 牧畜業 附 養禽業

内地の牧畜業

内地は廣大なる平野に乏しきと、氣候濕潤に過ぐると、宗敎・慣習等の關係にて古來衣食の資料と力役の供給とを畜類に求むること少かりしとにより、牧畜業は古來振はずして、今尙概ね農家の副業たるに過ぎず。近年畜類の用途次第に増加するに及び、畜産試験場・種馬所・種畜場等を設けて、銳意

家畜の改良・蕃殖を圖る。而して家畜の主要なるものは牛・馬・豚にして、それ等の内國種は次第に減少し、雜種及び外國種は次第に増加するの傾向あり。羊は其の飼養殊に振はざるを以て、近年需要の益増加する羊毛は、主として濠洲・英國等よりの輸入に待つ。

牛

牛は其の總數凡そ百四十六萬頭なり。飼養の盛なる地方は、中部地方以西にして、殊に九州・中國の二地方最も著はれ、兵庫・廣島・岡山の三縣に於て頭數殊に多し。牛は家畜中、最も多く食用に供せらるゝものにして、其の内地に於ける需要増加するに隨ひ、朝鮮より生牛の移入、支那より牛肉の輸入漸く多し。

馬

馬は其の總數約百五十萬頭に於て、北海道・鹿兒島・岩手・福島

高地三
高地三

豚

の諸縣殊に著名なり。豚は蕃殖力盛なるが上に、其の飼養は牛・馬に比して容易なれども、内地に於ける其の總數は、なほ七十萬頭に過ぎず。其の飼養の盛なるは沖繩・鹿兒島の二縣にして、是等二縣に於ける豚の總數は、内地に於ける總頭數の約四割を占む。豚肉は近年其の需要頗る増加したる爲、豚は屠殺せらるゝ數に於て牛よりも遙に多きに至れり。

臺灣の牧畜業

臺灣の家畜は豚・水牛・黄牛を主要なるものとす。中にも豚は到る處に飼養せられて、其の頭數は内地に於けるものに比して約二倍の多きに達す。水牛並に黄牛は中部以南に多く、殊に水牛は主として水田多き地方にて飼養せらる。

朝鮮の牧畜業

朝鮮の家畜は牛・豚を主なるものとす。中にも牛は其の頭數

内地に於けるものよりも多し。牛及び牛皮は朝鮮の主なる移出品たり。

樺太の牧畜業

樺太には牧場に適する處甚だ多けれども、牧畜未だ盛ならず。樺太の主要家畜たる牛馬も其の數多からず。舊來の土人の中には馴鹿を飼養するものあり。

養禽業

養禽業は牧畜業と共に概ね農家の副業として行はれ、内地にては鶏鶩等を主なる家禽とす。就中、鶏は到る處に養はれ、成禽は二千萬羽を超え、愛知・千葉・茨城・鹿兒島の四縣殊に多し。鶏卵は年産額十六億個を超え、千葉・愛知の二縣に於て其の産額最も多し。されど鶏卵は其の産額未だ内地の需要を充すに足らざれば、年々支那より輸入せらるゝもの少からず。鶏は臺灣及び朝鮮に於ても亦重要なる家禽なり。

高地三

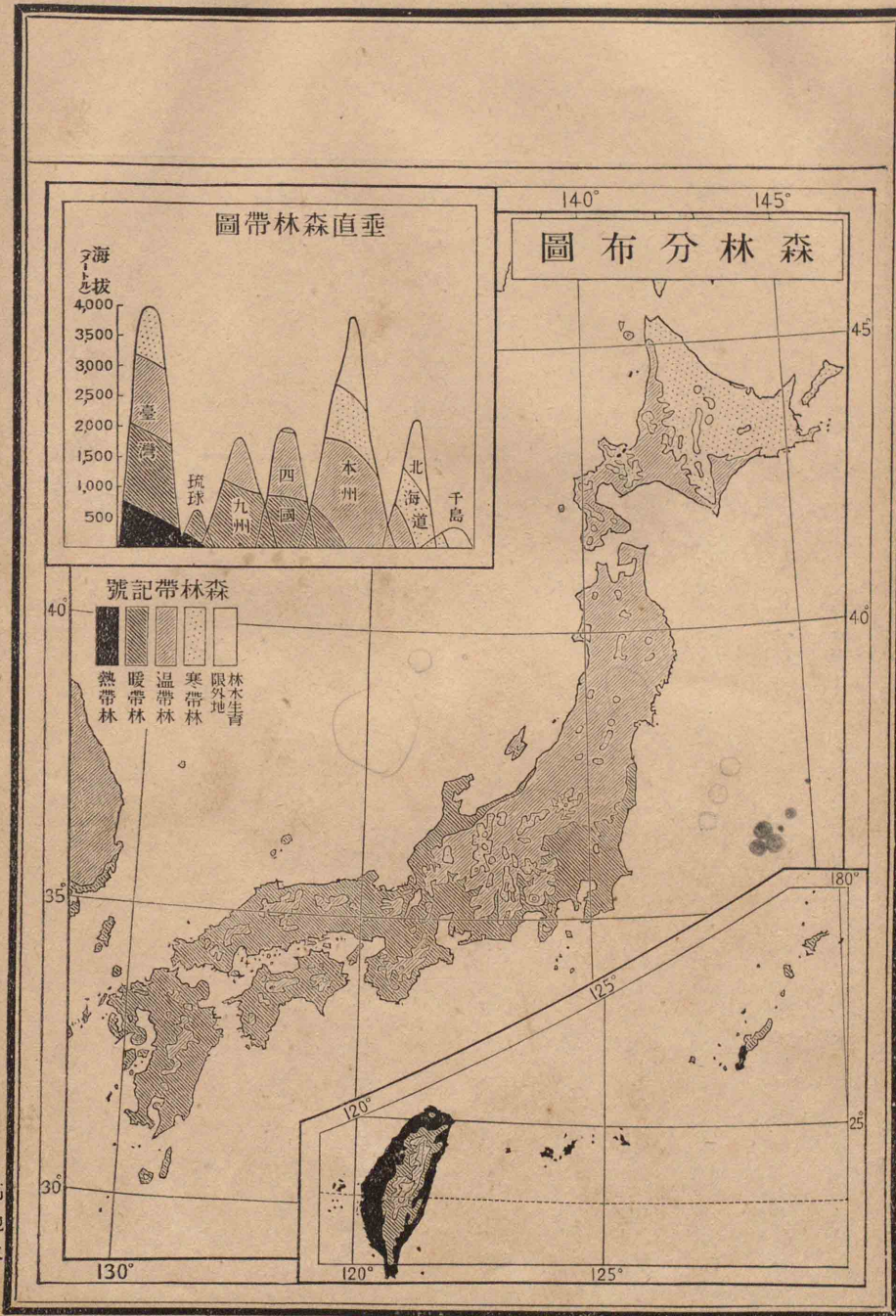
概説

第五 林業

一 内地の林業

内地は氣候概ね温和にして且濕潤なれば、樹木よく繁茂し、森林の面積凡そ二千萬町歩に上りて、内地總面積の半ばに當る。之に原野を加ふれば、約二千三百萬町歩を算す。

森林は南より北に進み、又低地より高地に昇るに隨ひ、氣候との關係上、それ〴〵熱・暖・温・寒の四帶に分たる。熱帶林はがじまる。あかう等、暖帶林は檜・椎等、温帶林はぶな・檜・杉・檜等、寒帶林はえぞまつ・とどまつ等を以て固有の樹木とす。此の中に、温帶林は有用の樹種に富み、其の分布地域の高さは九州にて最も高く、九州より北進するに隨ひて次第に低下し、北海



高地三

道の中部に至りて寒帯林に接す。又暖帯林は主として温帯林の南に分布し、沖繩島の略中部に於て熱帯林と界す。是等各種の森林帯に於ける天然林の中には既に伐採開墾せられたるものあり。又松・杉・檜・竹等の如く、其の固有の森林帯以外に新に植栽せられて、森林帯の分布に變化を來したるものあり。

森林は又供用林・保安林の二種に分たる。供用林は森林總面積の大部分を占む。是等を所有別にすれば、御料林・國有林・公有林・社寺有林・私有林等に分たる。中にも私有林は最も廣く、國有林之に次ぎ、是等を合すれば森林總面積の約七割八分に及ぶ。

内地にある森林の著名なるものは、高野山・吉野・木曾・天城山

等の諸地方、天龍川の流域及び秋田縣・青森縣・北海道・宮崎縣等にあり。中にも木曾の森林は檜さはらねずこひばかうや

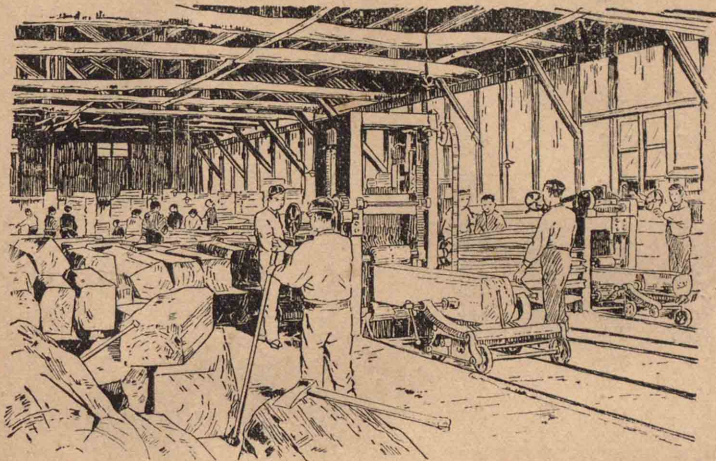
まきの五種を以て著れ、秋田縣と吉野地方との森林は杉を以て著る。又青森縣のひばも其名高し。

内地には用材・薪炭材・竹材等林産物多し。用材は年産價額約一億三千萬圓に上り、北海道・長野・秋田・三重・静岡・兵庫・宮崎等の諸縣に多く産す。

用材の中、主要なるは杉及び松

林産物

製材所



高地三

にして、其の年産價額は用材の年産價額の凡そ五分の三を占む。之に次ぐは檜・えぞまつとどまつ・栗・檜等なり。

製材業は北海道・秋田縣等に於て盛に行はれ、近年外國材の輸入、樺太材の移入せらるゝに及び、東京・名古屋・大阪等は挽材供給の主要なる市場となるに至れり。又北海道に於てはパルプの製造盛に行はる。

林産物中には角材・板類・鐵道枕木・マツチ軸木等の支那・印度等に輸出せらるゝものあり。されど米國・加奈陀より多量の各種木材、加奈陀・瑞典等より製紙用パルプ、海峽殖民地より生ゴム、西比利亞よりどろのき、支那より桐等の輸入せらるるもの少からず。

木炭は年産價額約一億二千萬圓に達し、多くはくぬぎ・檜・樫

松等にて製せられ、岩手縣・北海道を始めとし、福島・新潟・高知・大分・宮崎等の諸縣其の主産地たり。薪材は松・くぬぎ・檜・檜等を主とし全國各地方より産出す。竹は南部の各地に産し、北に進むに隨ひて漸く減少す。竹材は京都・鹿兒島・山口・福岡等の諸府縣に多く産し、其の製品の海外に輸出せらるゝもの少からず。森林の副産物中、主なるものは菌類・樟腦・樹皮等なり。

二 新領土の林業

臺灣の林業

臺灣には臺灣山脈に鬱蒼たる天然林ありて、樟・檜・杉等の樹木に富み、其の利用漸次盛況を呈す。殊に阿里山に於ては森林の經營大いに進みて、良材を供給すること多く、嘉義を始め處々に製材の業盛なり。又樟より製する樟腦は年産額凡

高地三

そ二百萬斤を算し、樟腦油と共に臺灣の特産物として、其名世界に著る。

朝鮮の林業

朝鮮の森林中、著しきものは北部の鴨綠江及び豆滿江の流域にありて、朝鮮總督府の經營に屬し、からまつもみてうせんごえふまつ等の用材に富む。新義州は木材集散の中心地にして、又製材の業盛なり。朝鮮にては積年濫伐行はれて、森林の荒廢甚だしかりしも、近年殖林獎勵せられ、且風土・樹木の生育に適するを以て、朝鮮に於ける林業の前途は有望なるものあり。

樺太の林業

樺太の森林は頗る大にして、總面積の約八割を占め、とどまつゝえぞまつからまつ等多し。近時パルプ製造並に製材の業各地に興り、パルプ・木材の産出少からず。

概説

第六 鑛業

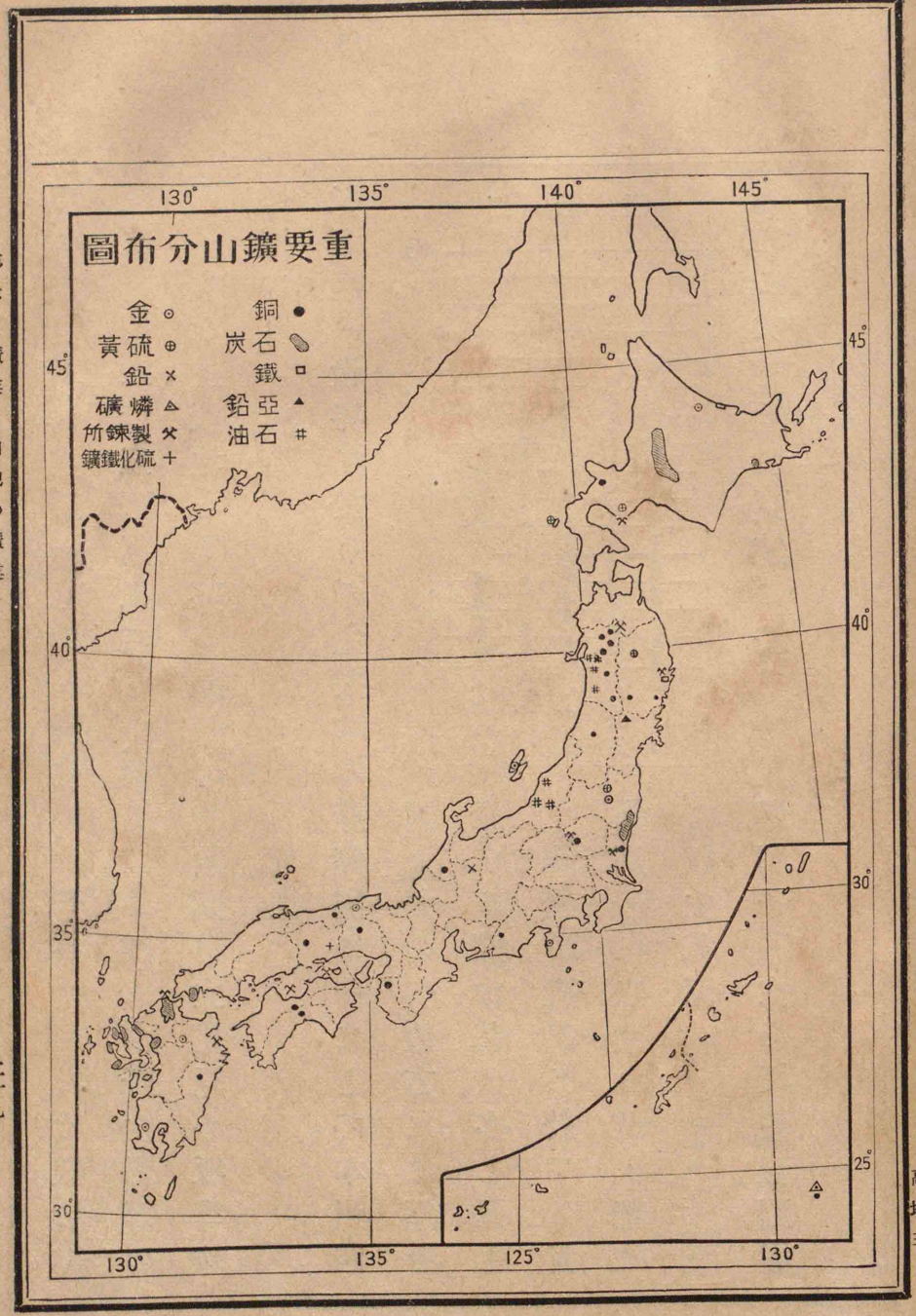
一 内地の鑛業

内地は種々の有用鑛物に富み、内地鑛産物の年産價額三億五千萬圓を超ゆ。此の他、朝鮮産及び諸外國産の原料より製するもの亦頗る多し。

内地に産する金屬鑛産物には銅・鐵・金・銀・亞鉛・鉛等あり、非金屬鑛産物には石炭・石油・硫黄・燐礦等あり。就中、石炭は其の産額最も多く、鑛産物總價額の約七割に及ぶ。此の他、有用岩石も近時其の利用進歩するに隨ひ、産額次第に増加せり。

内地に於ける金の年産額は凡そ二百萬匁にして、金鑛は鯛生・串木野（鹿兒島縣）・佐渡等の諸鑛山を主産地とし、其の製鍊に於

金・銀



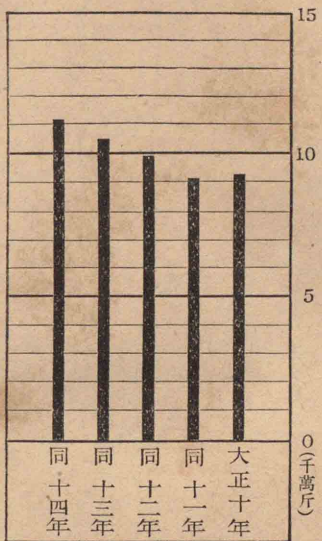
高地三

銅

ては佐賀關・日立最も著はれ、鯛生・串木野等之に次ぐ。銀の年産額は約三千五百萬匁にして、銀鑛は神岡・串木野・生野等の諸鑛山を主産地とし、其の製鍊は佐賀關・日立足尾・小坂等殊に盛なり。

我が國は世界に於ける主要なる産銅國の一にして、本州四

銅産額



等之に次ぎ、銅の製鍊に於ては足尾・別子・日立・小坂・佐賀關等盛なり。

國・九州の各地方には銅を産する鑛山甚だ多し。而して銅鑛の産出に於ては足尾・別子の二鑛山最も著はれ、日立・花岡秋田縣・尾去澤秋田縣

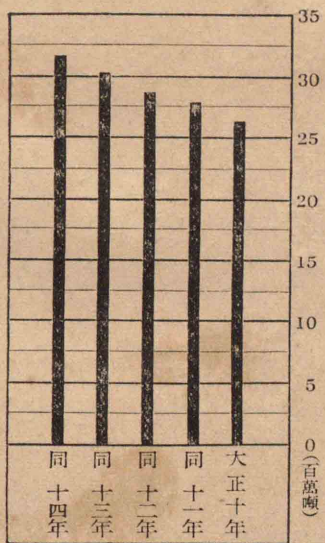
鐵

内地は鐵鑛の産出甚だ少量にして、僅かに釜石くつし・俱知安くちあん北海道等の鑛山に産し、之より製する銑鐵の量は年凡そ六萬噸に過ぎず。故に年々多量の鐵鑛を朝鮮・支那・海峽殖民地等に求め、八幡の製鐵所其他に於て、年約六十萬噸の銑鐵を製す。されど尙我が國に於ける需要を充すに足らざれば、更に銑鐵を印度・支那等に、鋼材を米國・英國・獨逸等に求むること甚だ多し。

石炭

石炭は主として九州及び北海道に産す。九州にて産出する石炭の殆ど全部は福岡・佐賀・長崎三縣の産出に係る。就中、福岡縣は内地に於ける石炭總産額の五割餘を出し、同縣の三池炭坑は鑛區の廣大にして産額の多量なること本邦第一に位し、又遠賀川流域にある筑豊炭田には大之浦・三井田川

石炭産額



の炭坑を始め炭坑甚だ多し。而して九州炭は三池・若松・門司・唐津等の諸港より盛に内外の各地に送らる。北海道にては石狩炭田を

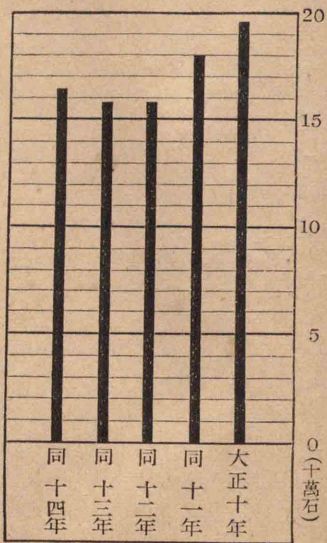
主産地とし、此の炭田にある夕張炭坑は我が國屈指の炭坑たり。此の他、關東・奥羽の二地方に互れる常盤炭田にても石炭の産出少からず。

石油

石油の原油は從來殆ど全部、新潟縣の産出に係りしが、近時秋田縣に於ても産額大いに増加せり。油田の中、殊に著名なるは新潟縣の新津・西山、秋田縣の豊川・道川等の油田にして、原油の精製は土崎港秋田縣・新潟・柏崎等に於て盛なり。されど

高地三

石油産額



内地に於ける原油の年産額は僅かに百六十萬石にして、其の量到底内地に於ける需要を充すに足らざれば、年々米國及び蘭領印度より補給を受くること多大なり。

硫黄・燐礦

内地は火山多くして、硫黄の産出少からず。殊に松尾岩手縣・幌ほろ別北海道・沼尻福島縣等に於ては多量の産出を見る。燐礦はラサ島島沖繩縣に産す。

石材

内地に産する石材の中に、最も需要多きは花崗岩にして、之に次ぐは凝灰岩・安山岩等なり。花崗岩は關東・近畿の二地方及び瀬戸内海沿岸より多く産し、御影石として其の名高

く、凝灰岩にては栃木縣に産する大谷石最も著る。安山岩は廣く火山地方より出で、中にも人によく知らるゝは、神奈川縣に産する小松石なり。又徳島山口・茨城等の諸縣にては大理石を産す。

工業用岩石類

工業用岩石の中にて陶磁器の原料たる陶土は瀬戸・有田・天草島を始め諸處に産す。又石灰岩及び粘土は近來著しく需要を増加したるセメントの原料として、砂利は土木建築用として多量に採掘せらる。紀州砂・淡路砂等は硝子の原料となる。

二 新領土の鑛業

臺灣の鑛業

臺灣の主要鑛産物は石炭にして、基隆附近に産し、其の産額近時次第に増加せり。此の他、金は北部の金瓜石・瑞芳の二鑛

朝鮮の鑛業

山に産す。又石油の産出も近時見るべきものあり。

朝鮮は鑛物に富み、鑛産物の年産價額約二千萬圓なり。而して其の主なる鑛産物には、金・鐵・鐵鑛・石炭等あり。金は雲山に最も多く産し、三成北平安道之に次ぐ。鐵鑛は載寧・殷栗黃海道等を主産地とし、其の一部は八幡の製鐵所に送られ、一部は兼二浦にて製鍊せらる。石炭は平壤附近に多く産し、品質良好にして、其の大部分は徳山山口縣の海軍燃料廠しやうに送らる。樺太には鑛業未だ振はざれども、豊富なる炭田ありて、其の一部は現に採掘せらる。

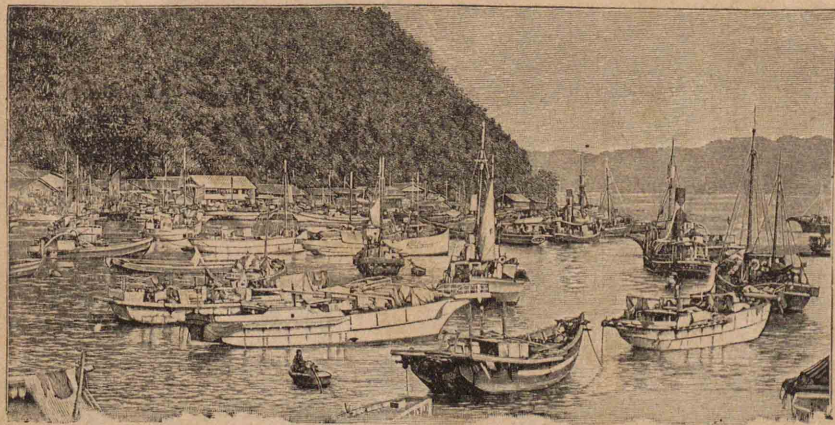
樺太の鑛業

第七 水産業

一 内地の水産業

概説

内地の近海には寒暖二種の海流ありて、魚類の外種々の水産物に富み、漁業は近海到る處に行はる。殊に近來發動機を具ふる漁船の數、急劇に増加して、遠洋漁業の發達頗る著しく、其の區域は内地沖合を始め、朝鮮、關東州及び西比利亞の太平洋方面等の海面にも互り、漁具は從來のもの外、トロール網をも使用する。その他、水産物の養殖も發達し、製塩業は瀬戸内海の沿岸にて諸處に行はる。



港 漁

漁獲物

漁獲物は逐年増加して、其の年價額約三億八千萬圓なり。此の中、沿岸漁業による漁獲高最も多く、二億六千萬圓に及び、遠洋漁業による漁獲高は凡そ一億二千萬圓を算す。主要漁獲物は鯛、鰯、鯉、まぐろ、にしん、さば、ぶり、鮭、いか、あまのり、えび、昆布、かに等にして、鯨の捕獲も亦行はる。内地の各地方の中心にて、漁獲高の最も多きは北海道にして、之に次ぐは静岡、長崎、山口、千葉等の諸縣なり。而して北海道のにしん、いか、昆布、鰯、長崎縣の鯛、静岡縣の鯉、東京府のあまのり等は漁獲高多きを以て著る。

水産製造物

水産製造物は年産價額二億圓を超え、漁獲物と略、其の主産地を同じうす。水産製造物の中、最も主要なるは鰯、鯉、にしんの製造物にして、其の價額を合計すれば、水産製造物總價額

の四割餘に達す。而して鰯の製造物には煮乾塩乾搾粕等多く、鯉の製造物は鯉節を主とし、にしんの製造物には搾粕身缺にしん等あり。にしんの製造物は北海道を、鰯の製造物は北海道を始め長崎・山口・千葉等の諸縣を、鯉節は静岡・鹿兒島・岩手等の諸縣を主産地とす。此の他、鰯は北海道・岩手縣等に、すきのりは東京府に多く産す。水産製造物には海外に輸出せらるゝもの少からざるが中に、鰻・寒天及び昆布等は支那に、かに、罐詰魚油及び鯨油は米國・英國等に向けらるゝもの多し。

塩

塩は内地に於ては概ね入濱法によりて製せられ、其の年産額は凡そ十一億斤にして、價額は三千數百萬圓なり。瀬戸内海の沿岸は雨量少く、晴天多くして、空氣乾燥し、大河のこれ

臺灣の水産業

に注ぐもの少く、且其の地形遠淺にして、潮汐干満の差著しければ、製塩に適する所多く、殊に坂出・撫養・三田尻・赤穂尾道等の附近及び兒島半島に於ては斯の業甚だ盛なり。近時塩を原料に用ふる工業の發達するに隨ひ、内地に於ける塩の需要益増加し、内地産のもののみにては需要を充すこと能はざるが故に、年々關東州・臺灣等より補給を受くること少からず。

二 新領土の水産業

臺灣の漁業は近來發達の趨勢を示せども、漁獲高未だ多からず。然れども臺灣は氣温高く、風多く、且つ砂濱に富むを以て、製塩業は夙に注目せられ、中部以南の西海岸に於ては、天日法によりて盛に斯の業を營む。

朝鮮の水産業

朝鮮近海は魚類豊富なるに拘らず、水産業は從來振はざりしが、近來種々の施設を講じ、改良を圖りたる結果、斯の業著しく發達し、今や漁獲物の年價額五千萬圓を超ゆ。主要漁獲物はさば、鰯、ぐち、めんたい、にしん、鯛、たら等なり。水産製造物は年産價額三千萬圓を超え、鰯、めんたい、さば等の製造物多し。又廣梁灣平安南道を始め西海岸に於て天日製塩業行はる。樺太に於ては水産業は最も主要なる産業にして、水産製造物の年價額凡そ一千七百萬圓に達す。漁獲物は其の種類北海道に類して、にしん最も多く、ます、たら、鮭等之に次ぐ。而してにしんは概ね搾粕に製せらる。又近時かにの罐詰業も甚だ盛なり。

樺太の水産業

第八 工業

一 内地の工業

概説

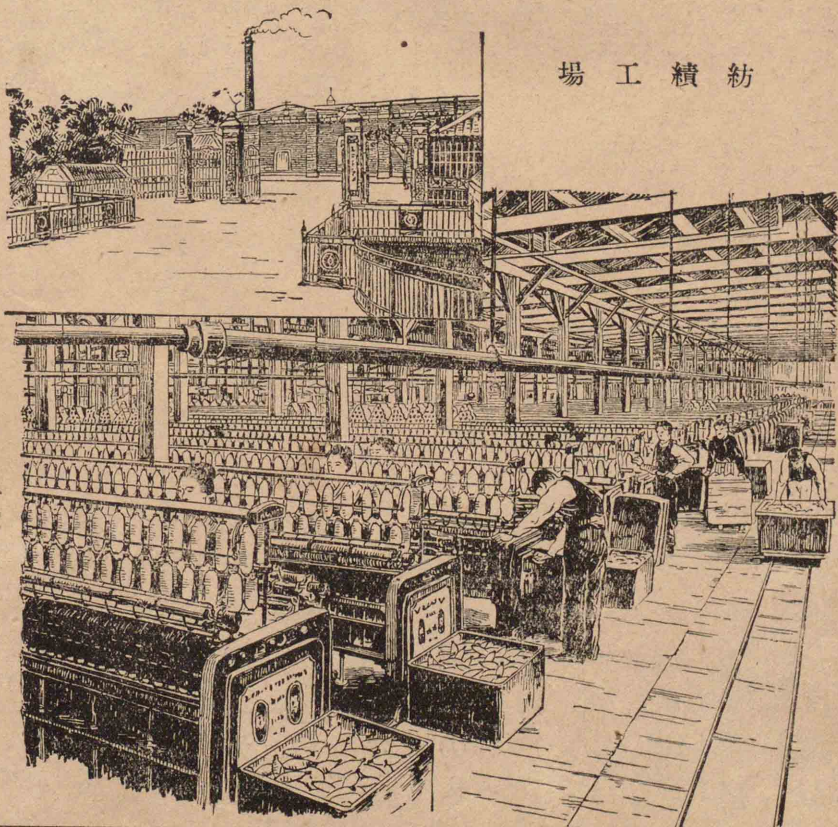
我が國の工業は機械力の應用盛となると共に長足の進歩をなし、各地に諸種の大工場興り、工産物も大いに増加せり。殊に歐洲大戰の影響により益、斯の業の發達を促されたれば、今や我が國は世界有數の工業國たるに至れり。内地に於ける工産物は年産價額六十七億圓を超え、一億圓以上のもこのみにても十種を超ゆ。

綿絲

綿絲は殆ど全部印度、米國等より輸入したる綿を原料として製造せられ、年産價額七億八千萬圓を超ゆ。大阪府を中心として、東は静岡縣より、西は廣島縣に亙れる一帯の地方と、東京府、福岡、愛媛二縣とに多く産す。中にも大阪府最も著れ

愛知・兵庫の二縣
之に次ぎ、其の産
額合はせて總産
額の約五割に達
せり。かくて綿絲
は内地の需要を
充すのみならず、
大阪・神戸等の諸
港より盛に支那・
印度・香港等東洋
各地に輸出せら
る。

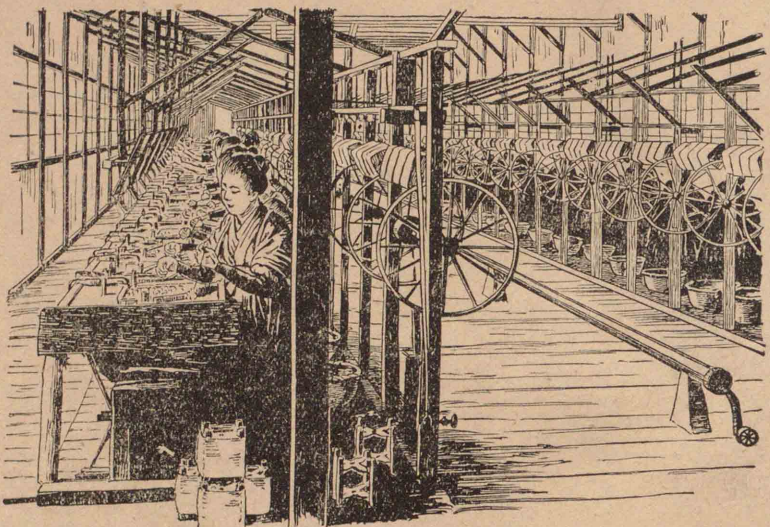
紡績工場



高地三

蠶絲

製絲工場



の、總産額の約九割に達す。生絲は實に我が國第一の輸出品

蠶絲は年産價額九億八千

萬圓を超え、長野・愛知・群馬・

埼玉・山梨・福島・岐阜等の諸

縣に多く産す。中にも長野

縣最も著れて、總産額の約

三割を出し、諏訪湖畔にあ

る岡谷の如きは我が國無

比の製絲業地たり。蠶絲の

大部分は生絲にして、横濱・

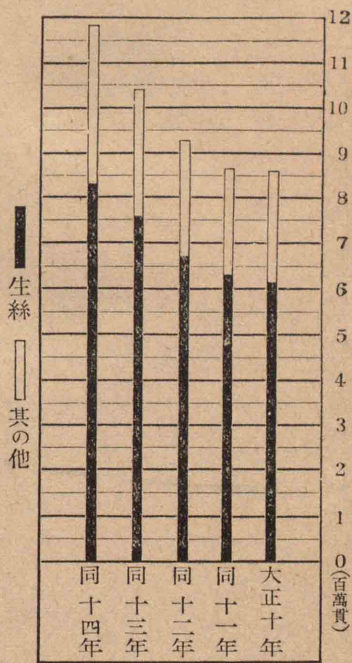
神戸二港より米國・佛國等

諸外國に輸出せらるゝも

高地三

織物

蠶絲産額



たり。

織物は内地に於ける第一の工業品にして、年産價額十五億圓に及ぶ。織物の

中、最も主要なるは綿織物と絹織物とにして、其の年産價額合はせて織物總年産價額の約八割に達す。之に次ぐは毛織物・絹綿交織物なり。其の他、内地産の織物には麻織物・敷物等あり。

綿織物

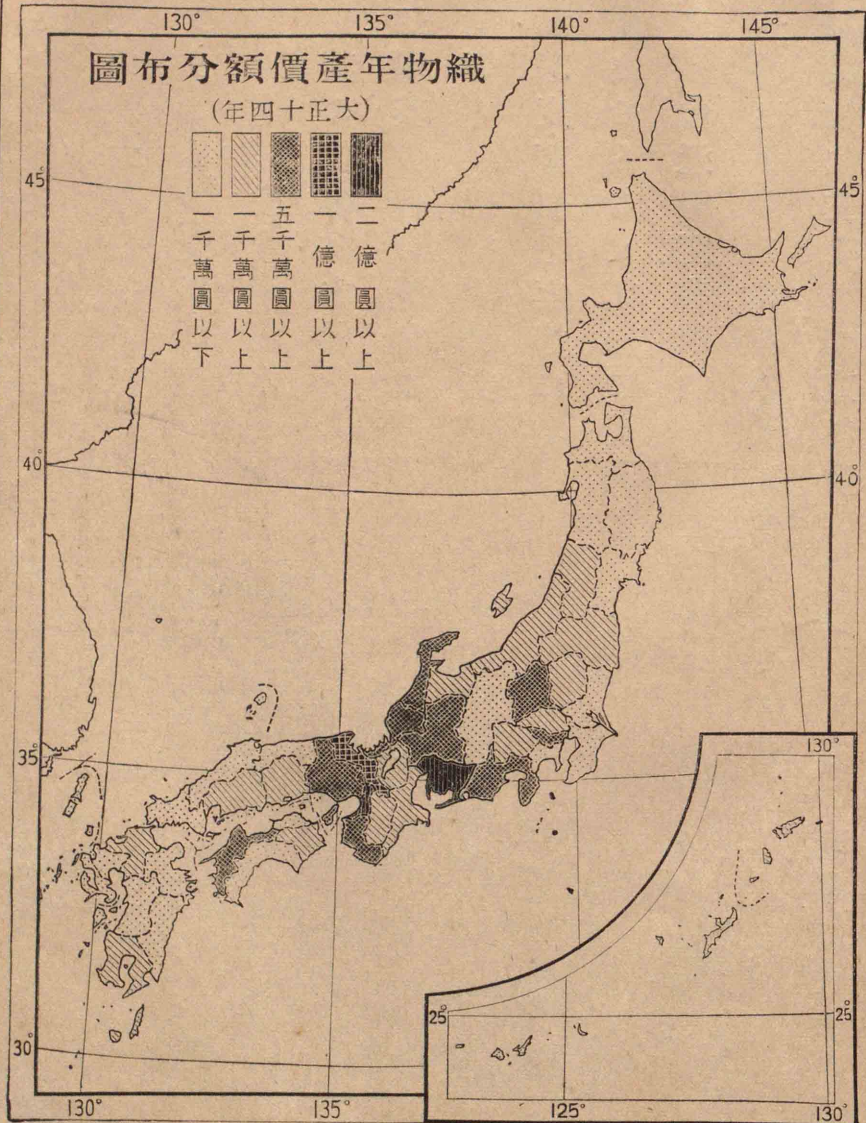
綿織物は大阪府に最も多く産し、愛知縣之に次ぐ。又和歌山・愛媛・兵庫・静岡・三重・岡山等の諸縣にも其の産額少からず。綿織物の中にて、主要なるは大阪府・愛知縣等の白木綿、静岡縣

高地三

高地三

織物年産價額分布圖

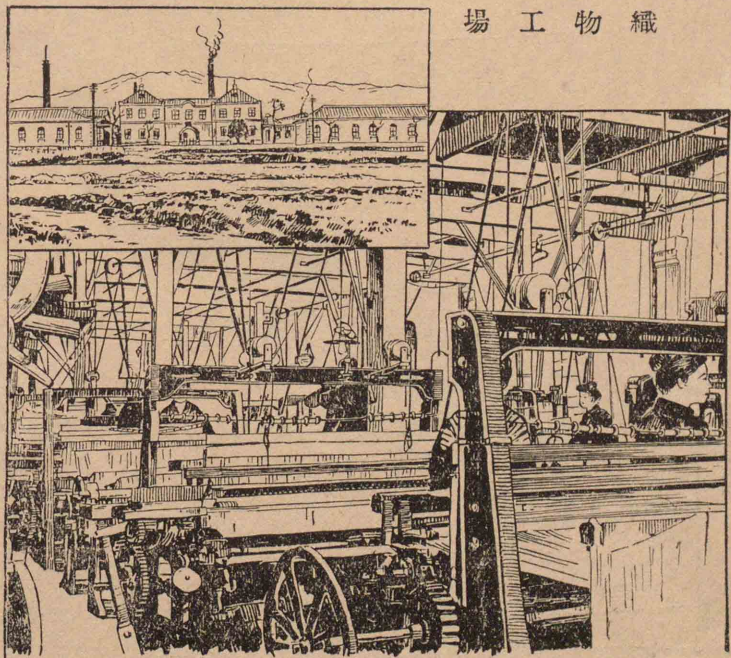
(大正十四年)



絹織物

愛知縣等の縞木綿和歌山縣大阪府等の綿フランネル愛媛縣福岡縣等の緋木綿栃木縣其の他の縮木綿愛知縣其の他の織色木綿等とす。綿織物は支那印度蘭領印度等に輸出せらるゝ額殊に多く、尙近時阿弗利加へ輸出せらるゝものも亦少からざるに至れり。絹織物は主として京都府より奥羽地方の南部に互れる諸

織物工場



高地三

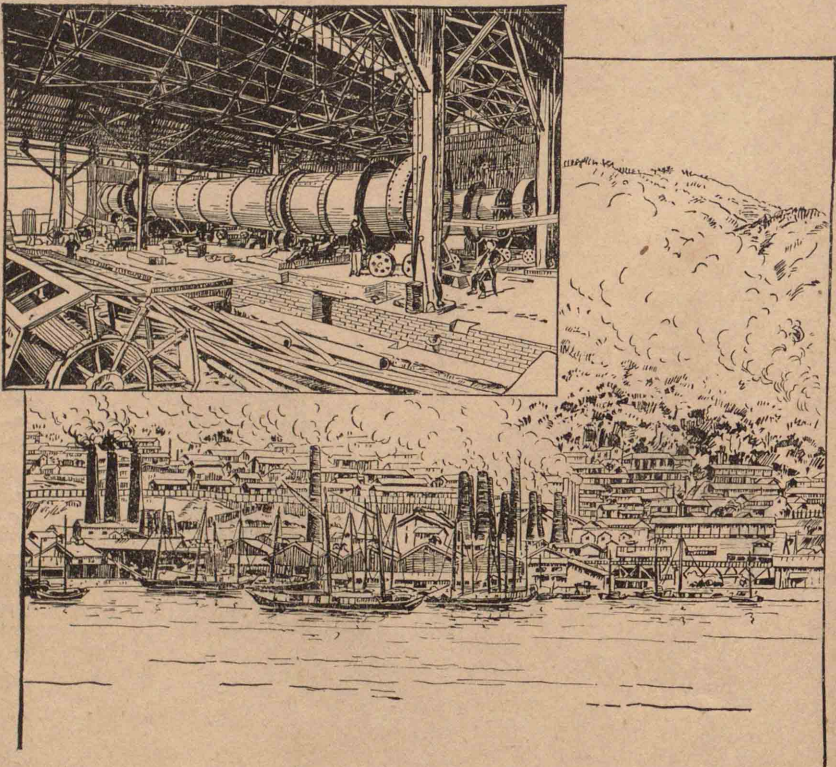
絹綿交織物・毛織物等

府縣に産し、殊に京都福井石川群馬東京の諸府縣に於て産額著し。其中、白絹類は福井石川福島等の諸縣を主産地とし、無地及び縞著尺物類は群馬縣東京府を、縮緬類は京都府福井縣等を主産地とす。輸出品としては平絹類に屬する羽二重首位を占め、米國英國印度佛國等に輸出せらる。富士絹類之に次ぎて、濠洲英國等に輸出せらる。絹綿交織物は京都愛知栃木等の諸府縣に産し、毛織物は愛知兵庫大阪東京等の諸府縣に、麻織物は滋賀縣に多く産す。其の中にて毛織物は概ね輸入したる原料にて製せられ、近時其の産額大いに増加したり。されど其の量、尙内地に於ける需要を充すに足らざれば、年々英國より補給を受くること少からず。メリヤスは概ね綿製に係り、大阪和歌山愛知東

窯業品

京等の諸府縣を主産地とし、シャツ、靴下、手袋等に製して印度、英國等に輸出せらる。我が國人は夙に陶磁器の製造に長ぜるを以て知らる。陶磁器は近時、飲食器、家具の外、尙電気用器具、建築材料にも多く用ひられ、爲に内地に於ける其の産額年々増加せり。愛知縣は總價額の四割餘を出し、岐阜、京都、佐賀等の諸府縣之に次ぐ。陶器の中にては粟田焼、薩摩焼等著れ、磁器の中にては瀬戸焼、多治見焼、清水焼、有田焼、九谷焼等名あり。是等の中には、近年内地に於て製法の發達せる硬質陶器と共に米國に輸出せらるゝ額少からざるものあり。七寶焼は我が國特産物の一として夙に海外に知られたれども、愛知縣其の他に少量の産出を見るに過ぎず。

硝子は從來主として輸入に待ちたりしが、近時大阪、福岡、神奈川等の諸府縣に於て盛に製造せらるゝが故に、今や却つて印度、支那等に輸出せらるゝに至れり。セメント、瓦、煉瓦は土



セメント工場

醸造品

木・建築の業盛なるに随ひて、其の産額次第に増加したり。セメントは福岡縣・北海道・山口縣に、瓦は兵庫縣・愛知縣に、煉瓦は大阪府に多く産す。

酒類の中、清酒は年産額約五百八十萬石に達す。兵庫縣は其の産額最も多くして、此の縣内の灘地方には古來大いなる醸造場多し。其の他、福岡・廣島・京都等の諸府縣にも清酒の産額少からず。ビールは東京・大阪・福岡の三府縣に多く産し、近來次第に其の産額増加せり。醤油は年産額三百五十萬石以上に及ぶ。其の産地としては千葉縣を最とし、愛知・兵庫・香川等の諸縣之に次ぎ、野田・銚子・龍野兵庫縣等に産するものは殊に名高し。

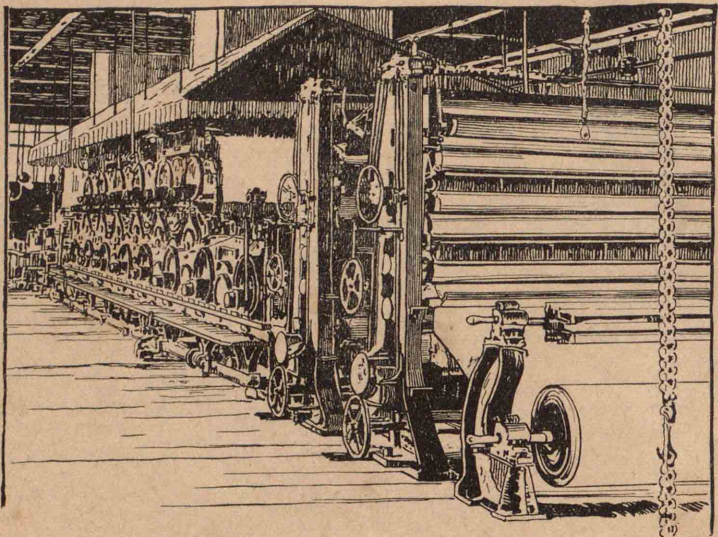
砂糖

粗糖は内地に於ては沖繩縣・鹿兒島縣等に産すれども、精糖

高地三

紙類

製紙工場



の原料としては殆ど用ひられず、其の大部分は臺灣産及び蘭領印度産の粗糖を使用す。精糖の製造は近時大阪・兵庫・東京・福岡等の諸府縣に於て盛に行はれ、其の産額頗る多し。されば精糖は從來主として輸入に待ちたりしが、今や却つて支那その他へ輸出せらるゝもの著しく増加するに至れり。

紙類は近時印刷業の發達するに随ひて、内地に於ける其の産額次第に増加せ

肥料

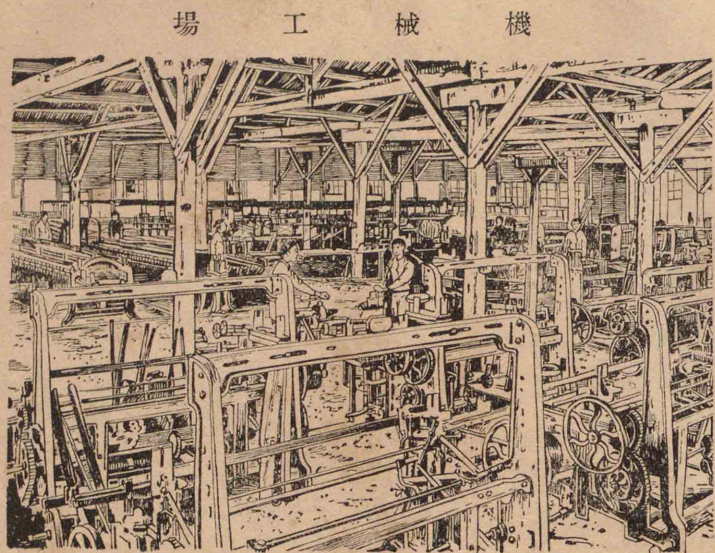
機械器具

り。和紙には半紙・漉返・美濃紙・雁皮紙・薄葉紙等の別あり。其の産地は高知縣を首とし、愛媛・山口・静岡・兵庫・東京・岐阜等の諸府縣之に次ぐ。洋紙は印刷用紙・ボール紙等を主なるものとし、其の製造は近時北海道・東京府を首とし、静岡・兵庫・熊本・大阪等の諸府縣に於て益盛なり。洋紙の原料たるパルプは北海道・静岡縣等に産するも、内地に於ける需要を充すに足らずして、樺太及び加奈陀・瑞典・米國等より補給を受くること少からず。

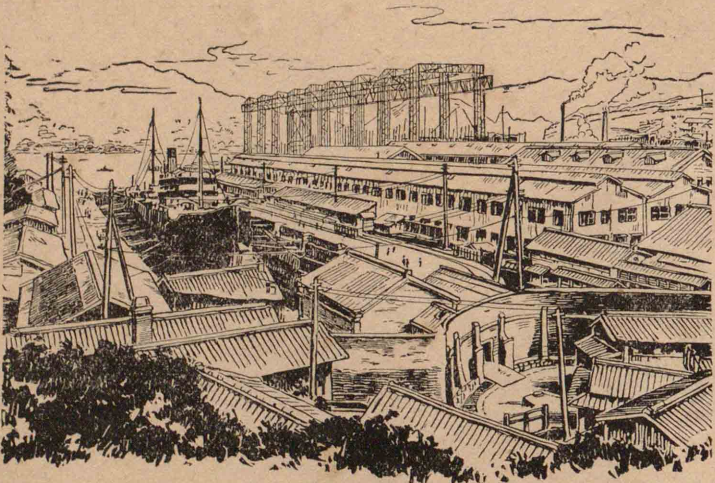
内地の製造肥料には動物肥料・植物肥料・礦物肥料等あり。近時農業の發達に伴ひ其の需要劇増せるが爲、産額も頗る増加せり。

機械類は各種産業の發達に伴ひ其の需要劇増して、歐米

諸國より輸入するものも巨額に上れども、内地の製造品も亦大いに増加せり。



機械工場



造船所

其の他の工産物

造船業は歐洲大戰勃發以來急劇に發達したる爲、我が國は世界有數の造船國、海運國たるに至りしが、近時稍不振の狀態にあり。
工産物中には尙注意すべきもの多し。煙草、木製品、麥粉の如きは年産價額一億圓を超え、又漆器、花筵の如きは年産價額は著しからざれども、我が國の特産物として其の名を海外に知らる。

二 新領土の工業

臺灣の工業

臺灣の工業は從來幼稚なる家内工業に過ぎざりしが、近時大いに進歩して、各種の工業品を産するに至れり。
臺灣の工業中、最も主要なるは製糖業にして、中部及び南部の平野にて各地に行はれ、殊に屏東、嘉義等には大なる製糖

高地三

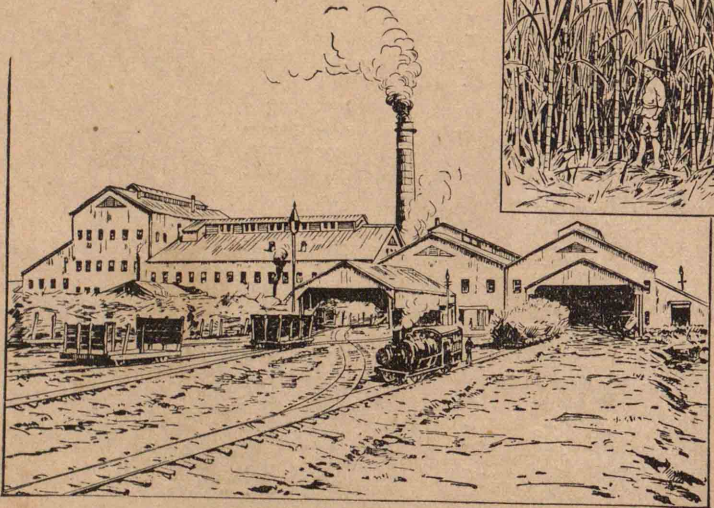
高地三

朝鮮の工業

工場ありて、盛に粗糖を製造す。粗糖は年産價額一億五千萬圓を超え、多く内地に移出せらる。
其の他、酒精、夏帽等の産出も少からず。

樺太の工業

朝鮮には從來、織物、陶磁器、紙類、酒類等の工産物あり。近來是等の製造業漸次發達せるが上に、新に製材、製革、パルプ製造等の工業興りて、工産物の産額著しく増加せり。
樺太には近時パルプ製造の業大いに興れり。其の他、尙豊富



製糖工場と甘蔗園

なる林産物並に水産物に附隨せる諸種の工業も將來發達すべし。

第九 商業

一 内地の商業

概説

我が國の商業は諸種の産物の増加、交通の發達、國威の發揚等に伴ひて頗る進歩し、銀行取引所等も次第に備り、今や其の面目全く一新せり。

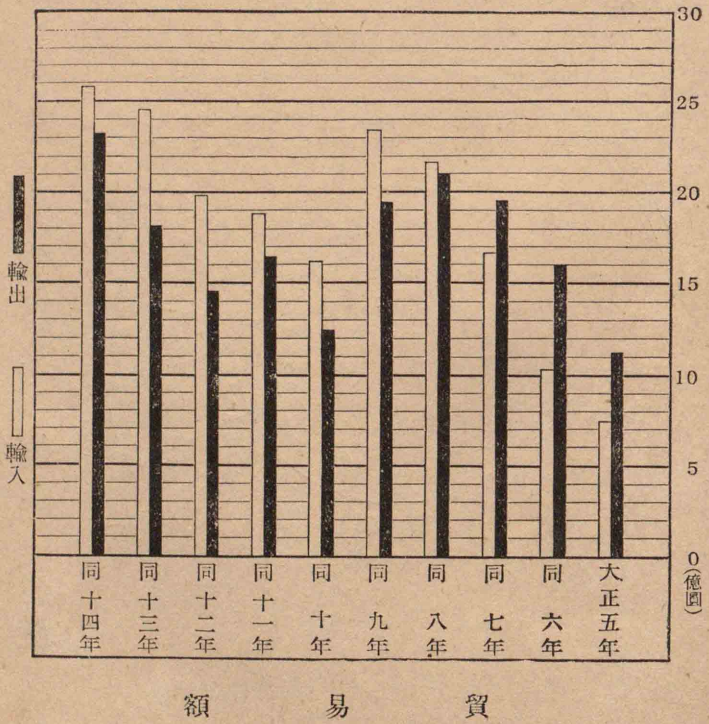
外國貿易

我が國の外國貿易は近時大いに發達して、内地のみにても輸出入年總額四十億圓を超ゆるに至れり。されど之を英國・米國等に比すれば尙及ばざること甚だ遠く、且平時輸入超過の傾向あり。

高地三

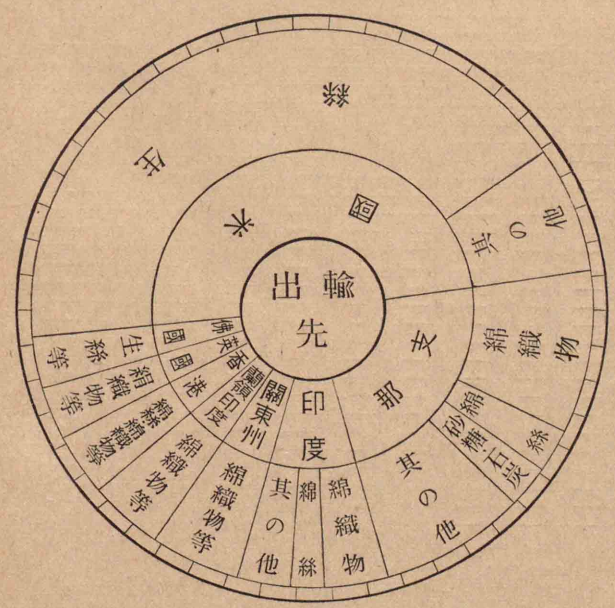
取引先

取引の最も盛なるは米國にして、印度・支那・英國・關東州之に次ぐ。其の他濠洲・蘭領印度獨逸等も取引盛なり。中にも米國・支那には輸出多く、米國・印度・英國・支那よりは輸入多し。而して印度・支那は我に原料品を供するのみならず、製品を求むること亦多く、加ふるに其の位置近ければ、米國と共に最も大切なる取



輸出品

引先たり。
 生絲は輸出品中の首位を占め、其の額輸出總額の四割に近く、大部分は米國に送らるれども、佛國其他へも少量の輸出を見る。之に次ぐものは綿織物、綿絲、絹織物にして、其中、綿織物と綿絲とは支那、印度等東洋各地に、絹織物は濠洲、米國、英國等に輸出せらるゝもの多し。其他、陶磁器、石炭、砂糖、メリヤス等も

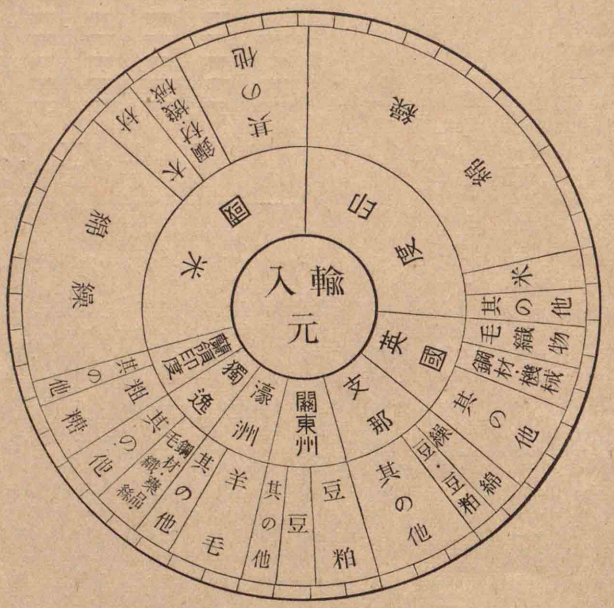


合割の額輸出及び先輸出要主 (年四十正大)

高地三

輸入品

主なる輸出品たり。
 繰綿は輸入品中の首位を占め、其の額輸入總額の四割に近く、大部分は印度、米國より、一部分は支那、埃及等より来る。之に次ぐものは羊毛、米、豆粕、鋼材、機械にして、羊毛は濠洲、英國より、米は印度、支那、半島の各地より、豆粕は關東州、支那より、鋼材と機械とは米國、英國、獨逸より輸入せらるゝもの多し。其他、木材、粗糖、小麥、豆類、毛織物、毛織絲等も主なる



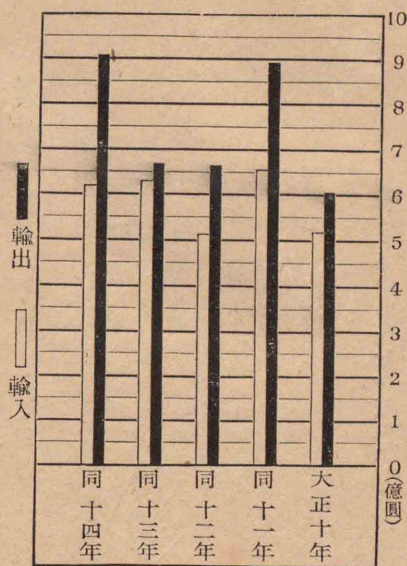
合割の額輸入及び元輸入要主 (年四十正大)

高地三

貿易港

輸入品たり。

内地の貿易港は其の數三十八あり。其中、横濱と神戸とは



何れも貿易額甚だ多く、合はせて内地貿易總額の七割を超ゆ。横濱は我が國第一の輸出港にして、生絲を始めとし、絹織物、屑絲等を輸出し、米練

綿機械、羊毛鋼材、豆粕等を輸入す。神戸は我が國第一の輸入港にして、繰綿を始めとし、羊毛機械、鋼材等を輸入し、生絲綿織物、絹織物綿絲等を輸出す。是等兩港に次ぐは大阪にして、其の發展亦近年著しく、綿織物綿絲を輸出し、繰綿を輸入す。

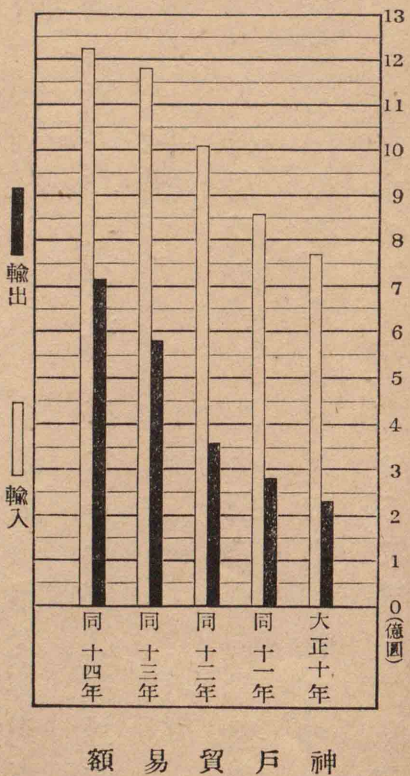
高地三

臺灣の商業

殊に綿織物綿絲の輸出にありては其の額國內第一位を占む。其他、名古屋、門司、四日市、若松、長崎、清水、敦賀等亦主なる貿易港たり。

二 新領土の商業

臺灣は近時内地との取引大いに發達し、其の額年約三億五千萬圓に達し、移出は移入を超過せり。主要なる移出品は粗糖、米、バナナ、樟腦、樟腦油及び酒精等にして、就中、粗糖米は合はせて移出總額の八割餘を占む。主要なる移入品は水産物、



神戸貿易額

綿織物・肥料等なり。基隆・高雄は取引上臺灣の二大門戸にして、高雄にては移出多く、基隆にては移入多し。移出品は主として神戸・大阪・東京門司に向ひ、移入品は多く大阪・神戸より來る。

臺灣に於ける外國貿易も近年發達して年約一億圓に上り、輸出と輸入とは略均衡を保てり。主として茶を輸出し、肥料を輸入す。其の取引先は支那を首とし、米國・蘭領印度・英國等に次ぐ。臺灣の貿易港中、取引の最も盛なるは基隆・高雄にして、之に次ぐは淡水・安平あんびんなり。

朝鮮は從來住民の生活程度低く、且交通不便にして常設の店舗少く、商業は概ね定期の市日に行はれ、取引割合に多からざりしが、内地人の移住するもの増加するに隨ひ、産業發

朝鮮の商業

高地三

達し、交通の機關も亦整備して、内外の商況次第に活氣を呈するに至れり。内地との取引高は年約五億五千萬圓に上り、近時移出超過の傾向あり。主要移出品は米・大豆・水産製造物・綿にして主として大阪に向ひ、主要移入品は綿織物・機械・鋼材・綿絲・砂糖にして主として大阪・神戸より來る。其の取引は多く釜山・仁川・京城にて行はる。

朝鮮に於ける外國貿易は次第に増加して年約一億四千萬圓に上れども、輸入超過著し。主なる取引先は支那・米國・英國・蘭領印度等なり。就中、支那との取引額は總額の八割を占め、砂糖・米・人蔘等を輸出し、粟・石炭・支那麻布等を輸入す。貿易場は釜山・仁川を始め十餘箇所あり。

樺太の商業

樺太は近時内地との取引次第に盛となり、年額九千萬圓を

超え、移出と移入とは略、均衡を保てり。主としてパルプ・木材を移出し、米・雜貨を移入す。樺太の外國貿易は大泊・眞岡にて行はるれども、他の新領土に遠く及ばず。

第十 關東州及び南洋諸島の産業

關東州の産業

關東州に於ては住民の過半、農業に従事す。されど此の地方は大陸内部の影響を受けて、氣温の變化烈しく、雨量少く、且平地甚だ狭ければ、農業上の不便少からず。州内農産物の主要なるものには玉蜀黍・高粱・大豆等あり。豚の飼養も廣く行はる。漁獲物には鯛・たらち等多し。又沿岸處々には製塩の業行はれ、中にも貔子窩・雙島灣最も著る。工業にては大連に

高地三

高地三

於ける豆粕・豆油の製造を第一とし、セメントの製造之に次ぐ。

關東州は良港の大連を有して、滿洲の關門に當るを以て、近來滿洲内部の開発に伴なひて、其の貿易は益、活氣を呈し、年額三億圓を超ゆ。大連は實に關東州貿易總額の殆ど全部を占む。其の主要なる輸出品は豆粕・大豆・豆油・石炭等にして、主要なる輸入品は綿織物・機械・綿絲等なり。其の取引は内地との間に最も盛に行はれ、之に次ぐは支那との間なり。

南洋諸島の産業

我が南洋諸島は赤道附近に散在する小島にして、サイパン島の粗糖、アングウル島の燐礦を主なる産物とす。又コブラの産出も少からず。取引は大部分内地との間に行はれ、年約一千萬圓に達す。

第十一 世界に於ける日本の地位

我が國は明治維新以來國運の發展急速にして、今や世界の五大國に列するに至れり。然れども其の領土の面積英佛米等に及ばず。しかも人口は急劇に増加し、殖民の事業亦未だ振はず、加ふるに産業は歐米諸國に比して尙及ばざるもの少からず。農業は古來開けたれども、耕地狹小にして農産物の産額必ずしも多からず、爲に食料品の供給近年漸く不足を生じ、海外より輸入せらるゝもの次第に多きに至れり。鑛産物には石炭、銅等産額の稍、多量なるものあれども、鐵に至りては其の産額需要の増加に伴はず。工業は近年頗る發達し、生絲、綿織物、絹織物、綿絲等の産額次第に増加したる

のみならず、海外に輸出せらるゝ額も漸く多きを加ふるに至りたれども、學理の應用、機械の使用等に於ては、尙大いに發達の餘地を存す。商船は其の噸數近時増加して約三百八十萬噸に上り、貿易は年總額四十億圓を超ゆれども、英國、米國等に比すれば尙及ばざること甚だ遠く、且概ね輸入超過なり。我が國の歳出は軍備の充實、各種事業の改善に伴ひ、次第に膨脹して十數億圓を超ゆるに至れり。又國債は數度の大戦役及び關東大震災によりて急劇に増加し、約五十億圓を算し、外國債は其の約三分の一を占む。されば國民の負擔は其の富力に比して輕しと云ふべからず。今や歐米の主要國は世界各地に其の勢を振ひ、殊に競ひて太平洋方面に於ける通商の利を收めんとす。随つて交通の

設備は益改良せられて、東西兩洋間の通商交通愈頻繁となり、殊に東洋の天地は益多事ならんとす。我が國民たるものは是等の事情に鑑み、世界の大大勢を察し、奮勵努力して、國運隆昌の基を樹て、世界の五大國の一たる實を擧げざるべからず。

高等小學地理書第三學年用終

高地三

昭和三年三月廿九日印
昭和三年三月廿一日發
昭和三年三月廿一日翻刻印
昭和三年四月十日翻刻發行

高等小學地理書第三學年用

臨時定價金九錢

著作權所有 發行所 文部省

翻刻發行 兼印刷者 日本書籍株式會社

代表者 大倉保五郎

印刷所 日本書籍株式會社工場

東京市麴町區飯田町一丁目三番地
株式會社 國定教科書共同販賣所

昭和三年三月廿一日
文部省檢査濟

發賣所

飯石郡
小

広島大学図書

2000089449

